

2009 年度 第 17 回 日本線虫学会大会プログラム

9 月 3 日 (木)

13:00~14:00 総会

14:00~14:10 休憩、講演準備

14:10~14:40 特別講演

(座長 佐野善一)

古家 忠(熊本県農林水産部)熊本の農業と病害虫・線虫害の現状と対策

14:50~16:20 一般講演

(座長 奈良部 孝)

14:50 101 ○荒城雅昭(農環研)土壌線虫の圃場内分布の不均一性とそれを克服する方策

15:05 102 ○竹本周平・加藤 寛*・岩波 徹*・影山智津子**・高橋哲也**・岡田浩明(農環研・*果樹研・**静岡農林研)温州萎縮病発生圃場から検出された *Xiphinema bakeri* 類似の線虫について

15:20 103 ○酒井啓充・水久保隆之(中央農研)サクラに寄生するネコブセンチュウについて

(座長 ガスパード, ジェローム)

15:35 104 ○岩堀英晶・立石 靖・上杉謙太(九沖農研)ネコブセンチュウ6種 10 個体群の発育零点と1世代所要有効積算温度

15:50 105 ○Cortada, Laura(IRTA., Spain) The use of tomato rootstocks to control *Meloidogyne* spp. in Spain

16:05 106 ○後藤デレック(北大創成)Applying forward genetics in Micro-Tom model tomato to understand root-knot nematode infection

16:20~16:35 休憩

16:35~18:35 イブニングセッション

(座長 岩堀英晶)

I 殺線虫剤の現状と将来

16:35 飯干浩美(日植防高知)

17:05 中川 博(石原バイオサイエンス)

II 日本線虫学の国際化に向けて

17:35 後藤デレック(北大創成)国際交流の広げ方について

18:05 神崎菜摘(森林総研)国際化って、何? - 私は何故アメリカに行き、何をしてきたのか -

18:35~19:00 休憩、会場移動

19:00~21:00 懇親会

9 月 4 日 (金)

9:00~18:15 一般講演

(座長 真宮靖治)

- 9:00 201 ○神崎菜摘・前原紀敏*・相川拓也*・升屋勇人(森林総研*・森林総研東北)白神山地のブナ倒木から脱出したハンノスジキクイムシより分離した *Bursaphelenchus* 属線虫
- 9:15 202 ○市村慶太・新屋良治・竹本周平*・竹内祐子・二井一禎(京大院農*・農環研)マツノザイセンチュウ同一系統内の病原力の多様性
- 9:30 203 ○新屋良治*・森坂裕信・竹内祐子・植田充美・二井一禎(京大院農*・学振特別研究員)マツ感染時におけるマツノザイセンチュウ表面タンパク質のフォーカストプロテオーム解析
(座長 二井一禎)
- 9:45 204 ○真宮靖治 モノテルペンおよびオレイン酸に対するマツノザイセンチュウの反応と行動
- 10:00 205 ○丸山亮太・小倉信夫(明大農)出芽酵母細胞を用いたマツノザイセンチュウの培養
- 10:15 206 ○和田 剛・丸山亮太・小倉信夫(明大農)出芽酵母によるニセネグサレセンチュウの *in vitro* 培養
- 10:30~10:45 休憩**
(座長 植原健人)
- 10:45 207 ○田中義則・飯田修三・水越 亨*(十勝農試*・道南農試)北海道のダイズシストセンチュウ発生圃場に抵抗性品種を効果的に導入する簡易評価判定法
- 11:00 208 ○串田篤彦・青山 聡*(北農研*・道立上川農試)小豆の近縁野生種において見出されたダイズシストセンチュウ抵抗性について
- 11:15 209 ○相場 聡(中央農研)ダイズシストセンチュウ個体群の下田不知系抵抗性ダイズに対する寄生性の差異
- 11:30 210 ○大林隆司(都農総研)染色によるダイズシストセンチュウ卵の生・死判別法の再検討
- 11:45~13:00 昼食**
(座長 荒城雅昭)
- 13:00 211 ○北上 達・西野 実(三重県農業研究所)トマトへのサツマイモネコブセンチュウの寄生を抑制する非病原性フザリウム菌の選抜
- 13:15 212 大場広輔・藤本岳人*・**・○水久保隆之*(東大院理*・中央農研**・京大院農)非病原性フザリウム菌 F13 株の異なる接種葉位がトマトのネコブセンチュウ寄生数に及ぼす影響
- 13:30 213 ○富高保弘・藤本岳人*・水久保隆之・津田新哉(中央農研*・京大院農)非病原性フザリウム菌 F13 株と共力してサツマイモネコブセンチュウ抑制効果を発揮する植物ウイルスの選抜
(座長 小倉信夫)
- 13:45 214 ○藤本岳人*・富高保弘*・二井一禎・津田新哉*・水久保隆之*(京大院農*・中央農研) ジャスモン酸メチル処理がトマトのサツマイモネコブセンチュウ寄生率に及ぼす影響
- 14:00 215 ○安次富 厚・田場 聡・永松ゆきこ*・高良綾乃*・島袋由乃・諸見里善一(琉大農*・パネフリ工業(株))アワユキセンダングサを活用した植物寄生性線虫類の防除に関する研究ー抗線虫活性の再評価と原料特性ー

14:15 216 ○奈良部 孝・古川勝弘*・岩崎暁生** (北海道農研・*道立北見農試・**道立中央農試) プラスチックカップを用いたジャガイモシストセンチュウの周年土壌検診

14:30~14:45 休憩

(座長 水久保隆之)

14:45 217 ○浦上敦子・徳田進一・村上健二・相澤証子・國久美由紀・東尾久雄 (野菜茶研) 7年間堆肥を連用した圃場におけるキタネグサレセンチュウ密度: 有機物投入量の影響

15:00 218 ○上杉謙太・岩堀英晶・立石 靖 (九沖農研) クマモトネグサレセンチュウのキクにおける生活環

15:15 219 吉丸 葵・田中龍聖・森絵梨加・○吉賀豊司 (佐賀大農) イネシンガレセンチュウの乾燥耐性

15:30 220 吉田幸平・○長谷川浩一・持地信雄・三輪錠司 (中部大応用生物) イネシンガレセンチュウ *Aphelenchoides besseyi* の初期胚発生と体軸決定について

(座長 長谷川浩一)

15:45 221 ○右田浩平・田中龍聖・吉賀豊司 (佐賀大農) *Caenorhabditis* 属線虫の乾燥耐性

16:00 222 ○田中龍聖・奥村悦子・吉賀豊司 (佐賀大農) *Caenorhabditis japonica* 耐久型幼虫のベニツチカメムシ随伴によって発現が変化するタンパク質の解析

16:15~16:30 休憩

(座長 近藤栄造)

16:30 223 長谷川浩一・○野々村悠・三輪錠司 (中部大応用生物) *Caenorhabditis elegans* の WDR-23 は GST 発現を負に制御する

16:45 224 ○近藤有希菜・長谷川浩一・三輪錠司 (中部大院応用生物) GST 発現に関わる遺伝子の変異体解析

17:00 225 ○石川友洋・三輪さつき・三輪錠司 (中部大院応用生物) *Pseudomonas aeruginosa* による *Caenorhabditis elegans* 殺害に対するアクリルアミドの効果

17:15 226 ○木邑和広・石井美穂・福西昭子・長谷川浩一・堤内 要・三輪錠司 (中部大応用生物) 線虫バイオセンサーを用いたアクリルアミド毒性低減化物質の探索

(座長 吉賀豊司)

17:30 227 ○吉田睦浩 (中央農研) 日本産昆虫病原性線虫 *Steinernema litorale* の低温感染能力

17:45 228 ○生澤達也・小倉信夫 (明大農) 神奈川県北東部の里山に生息する昆虫病原性線虫について

18:00 229 ○林賢太郎・小倉信夫 (明大農) *Steinernema kushidai* の増殖に及ぼすステロール類の影響

9月5日 (土)

9:00~13:00 エクスカーション
